報館 大豊
発行所
高知県長岡郡
大豊村立中央公民館
電話杉55番
印刷所
真生会同志社事業部
(無料配布)

村長施政方針を発表

第十回村議会三月十二日開会
執行部提案卅一年度予算案など
三月三十日原案通り可決閉会

第十回大豊村議会は共通の目的達成のため、三月十二日午前十時より開会された

同日は午前中議会運営委員会が組織され午后より村長、教育長の施政方針説明があつた。ついで十五日、十六日、十七日、十九日、二十日、二十一日、二十二日に開会、二十三日、二十四日、二十六日の三日間は常任委員会による調査の為休会し、二十八日、二十九日に続会、三十日には全議案の審議を終り討論採決があつて十日間にわたる議会を終つた。

村長施政方針説明は次の通りであるが、教育方針説明及び一般質問等の十日間にわたる議会模様は、速記録が整理され次第、議会特集号として詳細広報される予定であるので本号に於ては、それらは、はぶいてある。

新生大豊村を建設育成する為には先づ第一に和衷協力融合一体の美しい村造りに精進することが緊要である。

村内は今尚慣習に於て経済事情に於て又その他の事情に於いて異る点なしとしないのでこれを調整し真に融和のとれた名実共の大豊村を育て上げる為には、村民各位が旧村意識を一日も早く一掃し「村作り」と云所謂「和」の精神を基調として団結し、協力して頂くことが肝要であると堅く信ずるものである。

これが為には主権在民の民主々義政治の精神に則り政治の明朗化、事務の能率化を図り充分なる研究を行いたい。

御承知の如く一月十二日天坪南部五部落の住民投票により帰すうは決定されたが分村に際しての財産分与、教育上の問題、その他一連の事項については、議会、執行部、関係機関が一致協力し事にあたりいさゝかの遺漏なきを期したいと考える。

第二に健全なる財政の確立を期することが急務であるが為に、旧村より引継がれた二千数百万円に上る実質的赤字を克服することを痛感すると共に、真摯な努力を払つて居るが全国的な地方財政窮迫の例にもれずその道程は誠に多難である。

幸いにして本問題については昨秋来政府の採択する所となり今般公布された「**地方財政再建促進特別措置法**」こそ誠に赤字町村にとつて起死回生の妙薬とも云えるものであるこの際進んで再建団体となり鴎根を一挙に解消し自主的再建計画により健全にして弾力性ある村を建設致したいと考えている。

昭和三十一年度は初年度として引続き赤字の解消、再建計画推進の第一歩である次に**村の機構の合理化**人員の整理交流を図り事務の能率化により経費の節約を行い建全財政確立の推進に寄与致したいと考える。

第三には青年の自主的活動を中心として適地適産を目標とした土地条件の整備経営の多角化、技術の改良などに力をそゝぎ村全体とした安定した経営と生活を確実する為、山間農事試験場の完成に伴い、既設の各指導機関、村内の農業団体特に農協と緊密に連携して各種農研グループを中心とした農業の改良発展を図ることが必要である。

次に**林道、農道、村道等の新設改良**に意を用い新しい世代に相応しい地域産業の振興を図ると共に新農村建設計画について全村地域にその適要を受けるよう努力し更に進んで県道杉久保線、立川川之江線全通を期して今後強力に実現に努力したい。

懸案の南小川沿岸の大地辷地帯の対策については引続き強力な運動を推進し国県の可及的速やかなる防止工事施工を期したいと考える。

教育こそ村発展の一切に通ずる大本であるが故に、公立学校に係る老朽危険校舎については財源の許す範囲に於て計画的に順次改築すべきであるが村が合併後の今日ではありますが将来改築にあたつては統合出来うるものは慎重に考慮の上その方向に進めたい

保育施設の拡充は最近に於ける婦人教育の振興と共に幼児教育の重要性が認識されその必然的要求として各地に保育所設置の気運が醸成されつゝあることは私の意に欣懐とする所である。

次に**遺家族援護**については、遺家族の心情を十分に察して出来る限りの配慮を行はねばならないと思う。

保健行政については保健所その他の機関と連携且つその指導を受け遺漏なきを期したい。

徴税については新村発足の重要なる道程なることを認識し適正且公平なる課税を期すと共に特に本年度に於ては納税組合の設立を促進し徴税の対策に万全を期したいと考える。

最後に**基本財産の造成**を二段と推進する為、国有林の払下運動を強力に展開すると共に造林年次計画を樹立し、本年度を第一年度として準備並に実施に努めたいと念願している。

尚旧村よりの引継に係る訴訟問題竝に経理問題に関しては本年度内に適切なる解決をみるよう一層の努力を傾倒いたしたい

新村建設と云う創生の段階に在つて村財政の確立を期し自主的再建計画のもと村行政の正常な発展を実現して行くことはその途に於いて決して容易ではないと考えるが、私は村民各位と共に新生大豊村の前途に明るい自信と希望を持つて堅実なる歩みを続けたいとその考えを新にするものである。

村長　三谷泉水氏

西岡広　都築栄　八木正甲　秋山正隆
当59才　馬瀬65才　安野〃57才　居土東63才　川口

新教育委員決る

三月二十七日選挙　投票率三一、〇七%の低率

本村初めての教育委員会委員の選挙は三月二十日告示二十三日、立候補届を締切つたが、秋山正隆（川口）飯田利雄（川口）西岡広（馬瀬）森下豊次（大瀬）八木正甲（東土居）都築栄（安野々）の十名の立候補あり二十七日投票を了した。翌廿八日高須、中央公民館で開票、結果次の通り四氏が当選選挙管理委員会より正式に当選通告がなされた

なお今回の教委選挙は極めて低調で投票総数四一七八票で投票率は三一、〇七%また投票所毎の最高は四区（下土居）六九、八%最低は七区（大砂子）一七、一%でこれは全国でもまれな低い投票率だと事務当局では いっている。

当一〇四九票　秋山正隆
当八一一票　八木正甲
当七四三票　都築栄
当五七〇票　西岡広
次五四七票　森下豊次
三一〇票　小松久義
八〇票　飯田利雄
（写真は新教育委員）

農業委員無投票当選

農業委員会委員の選挙は教委選挙と同時に行なわれる事になつていたが、定員十五名のところ立候者は十五名で無投票当選に決定した当選者は次の通りである。

笹岡且樹　三一才寺内
吉川梅行　五七〃奥大田
三谷千年　三六〃馬瀬
大坪義興　五四〃川井
三谷喜徳　五九〃西峯
吉川永晴　四三〃立川
小笠原幸恵　五八〃樹谷
杉本秀義　五五〃八川
杉本恵喜　五一〃笹岡
門田盛一郎　三八〃笹岡
森下勇　四三〃尾生
杉本正盛　四七〃高須
松岡勝英　三四〃穴内
秋山秀実　五八〃穴内

天坪中部地域の中学生
大杉中学へ転校
波乱の余分村分

天坪南部五部落分村に伴い残存中部地域より天坪中学に通学していた約八十名の生徒は分村決定直後より天坪中学への登校を中止して角茂谷小学校に分室を構け授業を受けている。この間地元に於ては分室のままでは教育が不充分であるので久寿軒中学と併合して中学を新設するか等の案につき協議が行なはれて来た中学新設については万一新設することになつても三学級程度で教員も四名位の極少な中学となり学力の低下が第一に考えられ、また大豊村合併の趣旨からしても教育設備の不備な弱小中学を新設するよりも、むしろ通学可能な地点の中学へ集中し完全充実した大きな中学校に通学さす事が、子弟の将来のためであり、村費の軽減の一助にもなるとの大乗的見地から大杉中学へ通学せしめようとの意見が、強くだい頭し、同地選出の教育委員西岡広氏、村議員西岡利行氏等は同地有志者父兄等と懇談を重ねた結果大杉中学へ転校通学することに意見が纏り、この旨村教委に申出た。

大杉中学へ転校する生徒は約九〇名の見込でこの中には分村地区の生徒数名が含まれて居り本月七日新学期開始と共に通学することになつた

三十一年度当初予算原案通り可決

第十回村議会では、三月三十日、前年度より二千万円減少の本年度当初予算、八千八百万余円を原案通り可決した。歳別内容は別表の通り。

才入	(88,383,047円)
1、村税	27,109,100
2、地方交付税	18,500,000
3、公営企業及財産収入	9,637,600
4、分担金及負担金	51,000
5、使用料及手数料	10,100
6、国庫支出金	1,717,600
7、県支出金	6,735,249
8、寄附金	2,108,463
9、繰入金	150,000
10、繰越金	10J
11、雑入	100,000
12、村債	1,263,835
13、	21,000,000

才出	(88,383'047円)
1、議会費	1,657,210
2、役場費	17,188,655
3、消防費	1,921,600
4、土木費	3,933,715
5、教育費	23,395,731
杉小学校改築費 8,000,000を含む	
委員会費	1,924,514
小学校費	13,698,580
中学校費	4,437,282
社会教育費	2,411,329
家政高女	924,026
6、労働経済施設及保健衛生費	4,594,434
仏産業調査費	1,697,200
及健康増進費	4,963,450
計画費	8,430,000
支備金	36,000
社保産財統選公賠予	718,800
7、災害復旧費	15,229,002
8、公債費	4,117,950
9、予備費	500,000

役場職員採用試験

一、採用人員　若干名

二、受験資格　昭和七年四月二日より昭和十三年四月一日迄に生れた者

性別学歴は問はない

三、試験期日　四月中旬

四、受験手続については部落長、支所、または大豊村役場総務課へ直接御問合せ下さい

村内機關人事異動

三月十五日　役場立川出張所長（死亡）石川晶水
三月八日　大杉駅長（退職、高知市へ）（旧）北川栄
三月十三日　大杉電話中継所長（新）篠原重太郎
（西条中継所長）（旧）竹花敬治
三月十五日　四国電力杉所長（新）米田弘
（高知支店へ）（転）高野英
役場人事異動
大豊村役場異動は四月一日附で次の通り発令された。
西豊永支所長　岡林政美（天坪支所長）
天坪支所長　山崎義高（土木係長、選管書記長）
総務課附　山中万石（西豊永支所長）
厚生課長事務取扱　助役丁野武茂
農業委員会事務局書記長（経済課）大石盛男
選管書記長兼厚生課勤務（東豊永支所）筧義孝
出納室、西村憲義、総務課都築幹夫、厚生課、北村茂利、経済課土木係長、前田波雄、上村輝子、西岡鶴見ヒデ、便丁、美濃トメ子
税務課、笹岡桂助、畠中桃為義、樫谷山崎輝男、上穴内岡本菊治

退職者

三月卅一日発令
浜田茂義（厚生課長）
中西晃生（総務）小川佳澄
（経済）原信雄（農委書記長）小笠原光雄（農委）渡辺美江子（税務）三吉利美
（天坪支所）近藤正年（東豊永支所）計八名

新任部落長

（三月現在）
西豊永地区黒石三谷吉春、西庵谷三谷未繁、東梶内上村重行、西久保上村茂文、柳野北村政雄、大久保豊永政雄
大杉地区杉本雄幸、日浦上村正幸、大王下美濃不眠男、葛原宮内優、目付森下春正
天坪地区北川二区西岡済、本村西岡政保、戸手野岡林為義、樫谷山崎輝男、上穴内岡本菊治

天坪南部五部落分村住民投票施行記録

十二月六日　旧天坪村南部五部落分村は地方自治法第一条の趣旨に副い発足した大豊村の建設に一大支障を来たすので分村は絶体反対である事を村議会で決議

二十三日　本件に関し三谷村長は知事と会談

二十八日　議長、村長は県へ出張

三十一年一月

一日　三谷村長は天坪中学の新年式に参列式後、学校職員、PTA会長と懇談したが何等の進展をも得なかつた。

五日　議長、村長は県地方課に出張、分村になつた場合の財産配分につき意見の交換を行なつた。

九日　旧村の責任者である秋山旧大杉、高木、福東豊永元村長を呼び合併当時の事情を聴取

十日　議長副議長、一部村議員は住民投票の見合せを県へ陳情した。

十一日　地方課より係員二名来村、住民投票の請求書を村選挙管理委員会に手交した

十七日　天坪北部住民約十名は村へ陳情書並に口頭をもつて分村反対陳情

十九日　行政訴訟、研究の為、小笠原助役三谷書記、西岡、西村議員等高知市伊藤弁護士へ出張

二十二日　分村問題に対する村議員協議懇談会を開催。分村問題に関する行政訴訟をする前提の許に村長に協力する委員をつくり資料作成、提訴理由を研究し成案を得たる場合は臨時議会へ提案することに決定

二十四日二十六日及び二十九日　分村問題に関し行政訴訟の研究会を行う

三十一日　村議会協議研究会

二月十日天坪南部地区分村住民投票施行結果は

投票総数	九二四
有効投票	九二二
無効投票	二
賛成投票	八二四
反対投票	九八

となり有効投票の三分の二。六二四、六票を二〇九、四票超過し遂に分村することに決定した

公民館とは

中央公民館主事　平尾俊一郎

公民館が一般に理解されてくるに従つて、その活動の必要、重要性も高まつてきました

小さな村から一躍日本一の村になつた現在では尚更そのことが痛感されるのであります

公民館活動と云つても非常に広汎多岐にわたつておりまして目に見えた活動効果を擧げるには仲々困難ですが、村民のみなさん方のお力ぞえで今後一そうの発展充実をしなければならないと考えます。

そうした事に一層の理解を賜り併せて各公民館の活動内容を御知せする為、解説とニュースの欄として、毎号掲載致します

御熟読下さい。

解説とニュース

公民館は、敗戦後の混乱した世相の中から祖国再建えの活路を開くべき原動力として、時の文部省で構想されて敗戦後十一ケ月目、昭和二十一年七月五日新憲法公布に四ケ月先立つて、文部次官通牒の形で公表されました。

ひとたびこの構想が発表されますと当時盛り上るべくして盛り上らなかつた日本再建運動に拍車がかけられて、野に火をはなつたような勢で公民館建設運動が全国に広がつたのであります。

私達の国が新しい民主日本に生れかわるためには、教育の普及が、なによりも必要ですし日本の国の教育は、国民学校や青年学校を通じて、一応どんな田舎にも普及した形でありますが、今後の国民教育は青少年を対象とする丈でなしに、おとなもこどもも男も女も、産業人も教育者もみんながお互に励みあい導きあつてお互の教養を高めてゆくような方法がとられねばならないわけです。

そこで公民館は村民が常時に相集つて教え合い導き合いお互いの教養文化を高めるための民主的な社会教育機関となるわけです。

公民館はいわば郷土における公民学校、図書館、博物館、公会堂、村民集会所などの機能を兼ねた文化教養機関であり、青年団や婦人会などの村に於ける文化団体の本部ともなり各団体が相提携して村振興の底力を生みだす場所でもあります。

この施設は、上からの命令で設置されるのではなくて、真に村民の自主的な要望と協力によつて設置せられ、また村自身の創意と財力によつて維持せられてゆくのが理想であります。

公民館の組織

公民館の構成要素はなにかというと、第一に人（役職員）であり、第二は施設（建物及び設備品）であるといわれています。

別図は館長以下職員をもつ事務局、各層からなる館長の諮問機関である公民館運営審議会、直接事業活動を展開する事業部、各部落に点在する分館、そしてその背景に公民館を支持しこれと協力する一般民衆があります。

つまり一般民衆を支柱として公民館が存在しているのであつて、公民館の傘下に一般民衆がくゝりつけられているのではありません

公民館の組織はどこの公民館でも同じということでなく、またいつでも必要に応じて変更することが出来ます。

これは公民館が最高の能力、最高の効果をあげ得るよう編成されるためで、別に中央からの命令によつて組織がつくられたり中央からの通達事項によつて事業を行つたりすることはないわけです。

別図は、本村のものでなく理想図です。

本村の公民館（中央）の事業部は、教養部、社会部、産業部の三つになつており、地区の公民館も大体本館に準じています。

部落公民館

公民館活動が真に郷土の住民に直結し、直接役立ち日常生活化するためには、中央にポツンと本館があるのでは利用価値が少なく効果を期待することは出来ません、特に山間僻地である本村では分館即ち部落公民館の健全な発達運営は、必要欠くべからざるものです。

三十年度は色々の関係でそのお願いも遅れましたが本年度は、たくさんの部落公民館が、生れて本館と密接な連絡により強力な公民館活動が、全村的に展開されるだろうと考えられますすでに東豊永地区では、統々と公民館組織が生れ、活動を始められています。

組織、運営等は大体どことも別図に似たようなものです。

新に公民館の組織を作つて部落の発展に努力なせれようとする時には、求めに応じまして、中央公民館や、地区公民館からお手伝に参上致します。

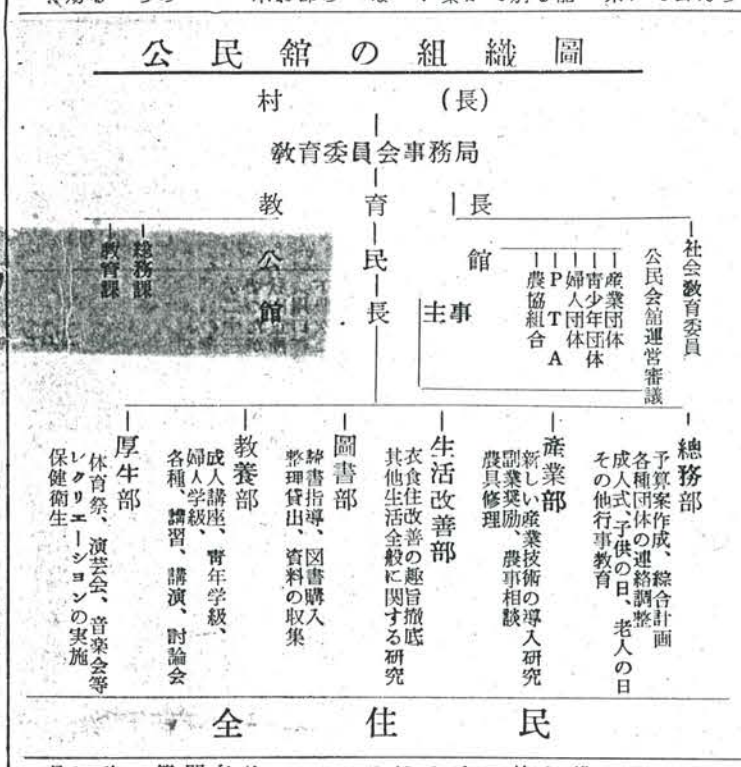


図　織　組　の　館　民　公

公民館活動

公民館標語入選

第一位　三谷徳太氏

東豊永地区公民館では、去る二月、部落公民館活動を刺戟し促進せしめ明るい村造りの為、気持ちのよい挨拶運動を促進する為に標語を募集していたが、この程締切り選の結果次の通り入選句が決つた。

（応募句数三一〇句）

第一位　三谷　徳太

○わが部落自力で立とう公民館

和で立とう

第二位　三谷　徳太

○さあ行こう公民館の鐘が鳴る

佳作　上村　一部

○推進だ　公民活動　近藤　田野

○一で研究二で実行三で豊かな村造り　春水

○かたくむすんだ公民館栄ゆる村の第一歩　三谷　徳太

○実行は公民館の集いから

○利用ほど公民館の味がでる

（挨拶運動）

第一位　三谷　俊美

○気持ちよくしよう受けよう挨拶

第二位　近藤　田野

○真心こめて笑顔で挨拶

佳作　三谷　俊美

○挨拶を交わす気持ちの朗らかさ　近藤　田野

○やさしい挨拶明るい社会

○明るい挨拶住みよい郷土

粟生分館で衛生教育

粟生部落公民館では、三月五日夜、同部落の定福寺で衛生教育講座を開催した。講師として県公衆衛生課の柳、竹林両氏を招き幻灯をも併用して「蚊とハエをいなくするためには、どうすればよいか」と云う問題について、集つた五十名の部落民によつて三時間にわたり熱心に研究された。講座終了後、レクリエーションとして劇映画「風雪講道館」が上映され十一時半散会した。（館長は阿波井清次部氏）

公民館報編集委員会の組織を予定

公民館で本紙を発刊し初めて、やうやく四号を重ねたが、尚館報の持つ使命の重大さにかんがみ、次号からは編集委員を組織して万全を期する計画を持つている。これは四月初旬の本館運営審議会に諮つて具体化される予定である。

西豊公民館部落巡回

西豊永地区公民館では、三月下旬から四月中旬頃迄に幻灯を持つて公民館活動や新生活運動について話し合いのため部落巡回をする娯楽用として、唄入観音経、前後編が上映される。これは録音機を使用する浪曲入りで、すでに上映された地区では絶賛を博している。

大杉地区は四月下旬より

大杉地区では四月下旬から実施の予定。

前回と反対に仁尾ケ内より巡り初めるので「声のリレー」の御返しが出来るわけである。

唄入観音経は後編が上映される。

（注・声のリレー）

録音機を使用して、部落から部落え声（知人、友人に挨拶やら唄など）を送り、リレーのバトン式に声を受け継いで行く、前回は大へんな好評だつたので、今度は前回と反対の順序でまわるわけ。

穴内公民館運営審議会

穴内公民館では、三月二日午后一時より運営審議会を開き、会計報告や館の修繕等について審議した。

同会では、森下勇館長の辞任が申出されたが、総意により申出を撤回し明年三月末まで留任することになつた

産業欄

山村ブームも去り製紙原料の三椏、楮も値下りし、山村の不況が深刻化した今日、山村の換金作物として脚光をあびた作物の中に「こんにやく」がある。「こんにやく」は古くより栽培されて、こと新しい作物ではないが此栽培、取引状況に就ては案外研究もされていない、山村の土地に良く合ひ山畑、傾斜地で日照時間も少い土地に好適し単価も予想外に高価に取引きされ、反取十万円の夢も栽培方法を研究、改善し投機的栽培を排し加工を主夫し有利に販売すれば真実性を帯びてくる之を栽培し奨励するについては生産状況や取引きについて知ることも重要なことである、以下参考までにこれらのことについて述べて見たい。

生産状況

「こんにやく」の生産は全国の耕作面積五〇四〇町歩、生産額一千万メといはれており、本県は三三五町歩、二六万メの生産量がある。

全国の生産額は

群馬県　九四万メ
広島県　九〇万メ
茨城県　九〇万メ
栃木県　六〇万メ
静岡県　六五万メ

全国四県の生産額は

徳島県　三〇万メ
高知県　二六万メ
愛媛県　一〇万メ
香川県　二万メ

本県の主要産地は

香美郡、上韮生、槇山、長岡郡、大豊、本山、吉野川、土佐郡、鏡、吾川郡、土佐、清水、小川、池川、上八川、下八川、吾川、高岡郡、上半川、東津野、檮原。

需給状況

戦前に比べて全国の生産額は大凡1/2位であるが本県は耕作面積、生産額も伸び戦前を上廻る様になつた

国内の生産は前に述べた様に1/2位である関係上輸入品は四川省及仏印等から生芋換算七〇万メ位の輸入と、密輸によるものが大体正式輸入量位入つているが戦前に比べて常に不足勝ちで高価に販売されている

取引状況

生芋で九〇%仲買人により農家の庭先販売が行はれ、価格は生産地により等級差をつけられて取引きされているが、之の価格差は高知市での場合も、大阪市も共通である。等級差は大約次の通りである。

一級地　上八川、清水、小川（柳野）生芋メ当　三八〇円

二級地　旧吉野（大淵）槇山、上韮生　三三〇円

三級地　池川、下八川、旧明治三〇〇円

四級地　大豊、檮原、東津野　二八〇円

五級地　越知、土佐山、鏡、　二五〇円

六級地　吾南、高岡町南部高知市附近　二二〇円

四、栽培上の問題点

1、適地　前に述べた通り地帯により価格に差異が甚しく一級地と四級地の大豊村のものの比較にても三割も安価である点よりして山間地であればどこでも有利といふことが言へない例へば反収十万円の所もあれば五一六万円の地帯もあることを考へ適地選擇が重要なことが判る。

2、種芋が高価につく　和卅年十一月大阪相場は一駄（生芋換算四〇〇メ）十五万円のものが本年三月は十万五千圓と2/3に値下りしている、之は問屋間の思惑取引きと、安価な外国品の入荷に左右されて居り、外国品は精粉一駄で六万円位で入荷するではなからうか

今後栽培を伸ばすには

山間地方でも前に述べた様に適地の問題があるから之を念頭において栽培計画を樹てなければならない、適地であつても、日照強く乾燥する所、風当りの強い所も悪いから西南面等は避け排水の良い砂礫質の傾斜地に他作物に適しない様な土地を経済的に有利に用ふる様に考へなくてはならない

3、災害

（イ）風害、本県は颱風の常襲地である、「こんにやく」は風害に対して特に弱く、収穫皆無になることもあり、生育が中止することも考へられる

（ロ）旱害、浅根性の植物の関係で乾燥には特に弱い

（ハ）病害、腐敗病、白絹病等の病害が発生すれば施す方法がなく予防に重点を置かねばならない

4、価格の変動が多い

換金作物の中でも特に変動が激しく年間絶へず高下している、例へば昭和三十年一月大阪相場は一駄（生芋換算四〇〇メ）十五万円のものが本年三月は十万五千圓と2/3に値下りしている、之は問屋間の思惑取引きと、安価な外国品の入荷に左右されて居り、外国品は精粉一駄で六万円位で入荷するではなからうか

一年仔を植付けて三ケ年位して初めて販売出来る様になりいはゆる収穫期が他の作物と違い長期に亘り且つ増殖率が極めて低い欠点があり急激な増産が望めない理由がある、例へば群馬県では次の様になつている

	一年仔	二年仔	三年仔
種子量	120貫	240貫	350貫
収量	400貫	700貫	900貫
倍率	3、5倍	3、0倍	2、5倍

山村の換金作物講座
〝コンニヤク〟の生産と販売状況
高知県農政課　堀川敏郎

産業欄の設定について

狭い国土に八千万の人口がうごめいている

仂こうにも仕事のない人口にきゆうし自らの生命をさえ断つ人が無数にいる猫の額い程の少さな土地を相手に十年一日の如く終日鍬を振う、仂いても仂いても楽にならざる我が家計、少さい土地を如何に活用するか、如何なるものを生産すれば有利に換金できるか之れが今日、農山村に課せられた大きな問題である。今回本紙はこれと取組み産業欄を設定した。

農業、林業、畜産、等多くの分野に渉り本県のそれぞれの第一級の専門家、研究者について御高見を拝聴する事に致しましたいくばくなりとも農家の皆様の御参考になる処あれば幸甚です。

（編集室識）

価格についても常に変動するから投機的な考へをすてて、反収十万の掛声に迷ふことなく、あくまでも種芋の自家採種をなし増殖も除々にをし、経営にむりのない様な行き方をしなければならない

特に本県にとりて改善しなければならないことは販売方法である県外の取引きの例でも生芋一本で売つている所はなく、収穫期は一時に出廻る関係で商人に買ひたたかれることは必定であるから一部は生芋に、大半は農閑期を利用し婦女子の作業として之を加工し荒粉（甘藷の生切千の如くに「こんにやく芋を輪切りにし乾燥する）となして高価な時期を見計らつて共同販売をなす様に心掛けなければならない、又生芋の販売も個人売はやめて農協等を通じて規格を定め大小に選け、等級をつけて共同出荷をなせばより一層山村の有利作物として伸びることは必定である。

杉小学校改築を決定

二年継続工事本年は八百万で

校舎一棟及講堂を着工は十一月の予定

杉小学校は腐朽危険校舎として認定され暴風雨時は児童の生命さえ気づかわれ地元杉校校下では、これが早期改築につき長らく村当局と折衝して来たが、遂いに三月三十日村議会を通過し本年度より二ケ年継続工事として改築する事に決定した。改築は十一月頃入札に附され直ちに着工する予定で校舎は延坪五六七坪、総工費一千五百万円で本年は工事費八百万円（講堂及本校舎坪数四〇六坪を建築）が予算化された。

選改員役農協天坪農

天坪農協では昭和二十七年以来、赤字経営を克服すべく再建強化に精進し漸く軌道に乗り愁眉を開いているが、去る二月十八日、役員改選の通常総会を開き次の諸氏が選任された

組合長 佐藤多磨呂

専務理事 岡村 千年

理事 西岡豊光、大石覚重、西岡文雄、杉本晴喜、岡林盛喜、岡部濠、馬場盛好、杉本正三、浜口益己、毛利盛

監事 杉本寛、竹村国太郎、杉本秀義

季節保育所開設

四月十日より大田口農民会館で来る四月十日より大田口季節保育所を大田口農協農民館で開設することになつた。

これは西豊永婦人会長豊永美嬢子さん、同婦人会常任委員釣井フミさん、溝淵輝寿さん、舟戸部落婦人会長間崎秀美さんが発起人となり大田口校下婦人会に呼びかけて村費補助十万円で設置することになつたものである。地元議員、部落長、児童委員等有志多数の者により後援会が発足することになり、将来モデル保育所設置の実現を期すべく意気込んで居る。

高須部落に街路燈を新設

高須部落では夜間の街路が暗くたびたび転落者を出し怪我をしたものがたくさんあつたが、去る二月より街路燈十一箇（経費一万三〇円）を施設し通行者の便宜を計つている。

これは本役場所在地の中心部落として、はづかしくない良い部落を作ろうではないかと鎌倉久男さん岡田忠秀さん森山茂貴さん等が中心となり、よい大人の会を結成、第一回大豊村木炭品評会

大豊村の主催による第一回大豊村木炭品評会は三月九日、十日の両日にわたり大杉中学校で行なわれた。

当日は多年の経験を生した見事な炭が百二十四俵出品され、高知県木炭検査高知駐区、高橋所長等の厳密なる審査により次の通り入賞者が決定し十日午后一時より表彰式が行なわれ、品評会の幕を閉じた。

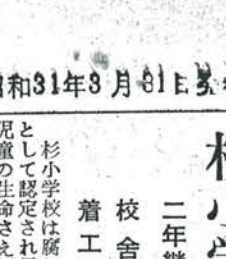
特賞 奥太田 吉川梅行

一等 小川 西山忠志

寺内 河野茂、奥太田 豊永和夫、吉川芳富、富田稔

二等 小川 西山忠志、高須 和田文一、津家 小川勉 沢田国夫、岩原 下村寅久万、奥太川 小川泰良、角茂谷 尾原竹喜、富田 熊市、和田 原春同

三等 伊野原慶太郎 大王下 小笠原影幸、杉 秋山正峯、小川 釣井福馬、高須 桶島佳正、大砂子 中西晴清、桃原 林菊馬、三谷 藤原角茂、西峯 三谷政広、奥太田 吉川梅行 小川 小川泰良、角茂谷 尾原竹喜、富田 熊市、和田 原春同



特賞 吉川梅行氏 大豊村木炭品評会

大豊村第一回赤ちやんコンクール 知能テストも行う

大豊村第一回赤ちやんコンクール大会は審査員に県立児童相談所長吉松茂氏、本山保健所長、秋山医師を招び地区予選を通過した三十四名の赤ちやんが参加して寒中にもかゝわらず元気な泣声も賑やかに、三月八日午前十時から中央公民館で行なわれた。

特に今回のコンクールは従前のものと変り吉松児童相談所長による智能検査が行なわれ文字通り万全に健全な赤ちやんが選ばれた。

審査は午前中で終り午后三谷村長より入賞者に表彰状及び記念品が贈られ、吉松所長の「かしこくて性格の良い子に育てるにはどうすればよいか」について、有益なる講演が二時間にわたつてあり午后四時半終了した。

なお努力賞は困難な条件のもとに健全な赤ちやんを育てた母親に贈られ/もの（優良）丹形道夫（西土居）松浦守（黒岩）（佳良）松浦文夫（連火）（長野益雄）東土居）（良好）渉辺隆彦（川井）長野真弓（高須）前田政代（仁尾ケ内）（努力賞）永野良子の母（仁尾ケ内）二宮久美の母（川口）

吉野川と支流へ鮎の放流を実施

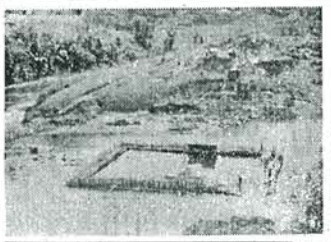
嶺北漁業組合では三月十九日第一回分として稚鮎十万匹（五貫（約六万匹）を大豊村の本流及び穴内川へ放流した。

なお徳島漁業聯合組合では稚鮎百万匹を吉野川上流に放流を計画していたが、三月中旬までに計画通り放流を完了したこれには嶺北漁協も出資参加している。

新吉野川橋いよいよ着工

既報のは穴内、尾生部落間に架つている吉野川橋架換工事は昨年十二月、飯野重工業が請負い去る一月五日着工、現在昼夜兼行で工事が行なわれている。

第一期工事は本年五月の予定であつたが三月十五日の大雨で、折柄川中に作られつゝあつた二号ピイヤが流出し大なる損害を被つた。（写真は工事現場）



年賀はがきの御年玉引換を早く

お年玉つき年賀はがきはせん番号は次の通り発表されている。

本村で、すでに特等の電気洗濯機が当つて現品と引換された幸運の方があるがあなたの御手許にも幸運の神が寝て居りはしないか、引換期間は七月十九日までであるから調べて当せんのものは至急郵便局へ差出し引換されるよう様希んでいる

◉特等
〇三五二七五

◉一等
六八〇四四九

◉二等
六四九三二七
六三〇六五九
八七七六三二

◉三等 下二桁
四五・三九・〇三

◉四等 下三桁
九一〇三三七
六〇三一七
八八八
一五〇

◉五等 下二桁
〇一・三

村の足跡

2月と3月

二月

二日 四国財務局小松大蔵事務官他一名、庁舎その他土木事業調査に来村。

三日 役場庁舎上棟式、教育委員会。

七日 村長西条地区え県道視察

八日 災害土木工事請負入札

十日 村教育委員、高校学区制反対を県教育委員会に陳情、天坪地区南部五部落分村住民投票

十一日 村教育委員会、天坪北部地区民中学生通学問題について同教委に陳情。

十二日 旧正月。

十三日 南部五部落分村問題にからむ天坪中の件、及び繁藤小学校「紀元節」の件につき県教委指導課主事来村、同件につき教育長、土長教育事務所に出張。

十四日 天坪中の件につき村教育委員現地に出張、西豊永地区連合青年団合同発会式。

十五日 立川出張所長、石川昌森氏病気療養中の処高知中央病院で死去、臨時教育委員会天坪中学校で開く、館報編集委員会。

十六日 第一回大豊村連合青年団支団長及び分団長会公民館で開催

十七日 県農業改良課より中村大王農事試験場視察に来村、村視聴覚ライブラリー第二回巡回映画開始故石川昌森氏葬儀。

十八日 災害土木会計検査院より検査に来村。

十九日 各小中学校学芸会。

廿日 村議会協議会臨時教育委員会。

二十一日 農業委員会。

二十二日 大豊村婦人会共励会支所長、課長会。

二十三日 公民館長連絡協議会、穴内校下青年団解散。

二十四日 教育委員会定例会。

二十六日 大杉地区青年学級卒業者第一回同窓会。

二十七日 林道北川線請負工事入札、薬師橋改修に伴う関係者協議会。

二十八日 教育委員会協議会、天坪北部地区民より中学校問題について同教委に陳情、村政懇談会（大田口）

三月

一日 税務署より所得税確定申告指導に来村。

日 穴内公民館運営審議会（岩原）村政懇談会（豊永中）

日 ライブラリー巡回映画終る。災害復旧工事々前検査に会計検査院より来村。

五日 館報編集委員会、粟生部落衛生教育講座

日 教育委員会、民生委員会。

七日 林業経済委員会、出納監査。

八日 土木委員東豊永現地視察

九日 大豊村木炭品評会（於杉中学校）

十日 木炭品評会（於杉中学校）臨時出納監査、

十二日 衛生連絡会。

十三日 衛生連絡会。

十五日 村議会。

十六日 村議会、大豊村青蘭会結成大会。

十七日 村議会。

十九日 村議会。

二十日 穴内校下青年団結成大会（於穴内公民館）杉保育園卒業式、農業委員会解散式。

二十三日 教育委員農業委員立候補締切

二十四日 土木委員東豊永現地視察

二十六日 大豊村木炭品評会（於杉中学校）

二十七日 林業経済委員会、出納監査。

二十八日 教育委員会協議会、天坪北部地区民会定例会。

二十九日 村議会。

三十日 東京熱海日光、鎌倉、箱根と五泊六日の予定で経費父兄負担二千円百円で計画し十七日出発、二十二日午後帰校した。

三十一日 村議会。

〝大豊音頭〟

一位入選者決る

角茂谷 畑山百合子さん

村連合婦人会では、機関紙「村婦大豊」を通じて、かねてから「村婦大豊音頭」を募集していたが、この程締切り応募作品十二篇についてその選を行い入選一篇佳作三篇を決めた。

作曲、踊りの振付等は近くその道の人に依頼して概ね四月中旬に盛大な発表会を持つ予定である。

入選作品及佳作者氏名次の通り。

入選 角茂谷 畑山百合子

一、広い豊かな大豊村は
駅は七つの土讃線
さあさあおどろよ大豊音頭
返り村は笑顔の人ばかり
二、冬は楽しい柚の木のス
キー
夏は登山の梶ケ森
お願こめましよ薬師堂
三、杉は大杉日本一よ
四国三郎穴内の
流れ岩間につゝじ咲く
四、河鹿鳴く夜は平和の橋
を最合傘かよ夫婦づれ
肩え希望の雨が降る
佳作 香長病院別役ときえ
立川一の瀬 長野稔恵
川戸 西村自登

雨の日も風の日も

大田口少年夜警団

三月二十二日大田口小学校卒業式に同校少年夜警団が村教育委員会より表彰された。

同校の少年夜警団は今から五年前に児童達が自主的に結成して毎年十一月から翌年二月末まで四ケ月間も風の日も雪の日も休みなしに目付、大田口、寺内、舟戸、黒石の人家の密集している五部落を毎夜八時から十時まで往復し四軒の道を拍子木を打つて夜警して廻り火災、盗難の防止に協力をつくして部落民から感謝されている。

これらはおもに前記五部落の児童中、六年生が中心となつて毎年二十名前後で編成されているものであるこの夜警団結成の動機は社会科で火災による被害が非常に大きいことを学習している時、たまゝ隣接している吉野川木材株式会社の大火を眼のあたりに見ていよ/\そのおそろしさを痛感し、自分たちに出来る範囲内でこの防止に協力しようという声がおこり児童会に提案して結成されたものである。

学校としては、これが自発的に児童が結成したものであり非常に尊いものと考えて毎年この団員中で卒業生に表彰状をおくつてその労苦をねぎらい善行をたゝえているが、部落民からも拍子木の寄贈をうけたり、物心両面からの協力があり又所轄木山署からは一昨年表彰状と金一封が送られこれについて山内校長は次のように語つている。

「善い事だと思つてもこれを実行にうつすことは仲々容易なことではない。殊にそれを続けるという事は大きな勇気と努力が必要である。子供達が自ら進んで社会の為に尽くそうとしているけなげな心意気は将来郷土を明るくし平和な社会をくみ立てる大きな原動力であると信ずる。

拍子木の音に私自らも反省した事だつた。希くばあの拍子木の音が大人の一人一人の心の中に響いてほしいものだ」

東京、道後方面え修学旅行

村立豊永家政高女

村立家政高女では三十年度修学旅行を第一班東京日光、鎌倉、江の島、熱海、箱根と五泊六日の予定で経費父兄負担二千四百円でもつて計画し十七日出発、二十二日午後帰校した。

第二班は松山、道後方面で二泊三日父兄負担八百円でもつて二十日出発二十二日午後帰校した。

特に東京方面の旅行は同校初めての催しであつて三十年度頭初より生徒自治会の映画、シヨウ等により、資金を獲得しその積立金二万五千円を補助に当てた。

又二十七日は本科十八名研究科五名の卒業式を行つた、

庁舎落成式と合併一週年記念行事

四月十五日頃開催

村役場庁舎は嶺北建設の手によつて着々とその工事が進められているが、二十日現在約九十%の完成を見四月十日頃、肥料倉庫の仮庁舎より移転一木の香も新しい新庁舎で事務が初められる段取りとなつた

四月十五日頃には、庁舎新築落成式と共に、丁度大豊村合併一週年に当るので華かにして盛大な記念行事が行なわれる予定である。

角茂谷へ大公園を計畫

天坪地区角茂谷に、護国の英霊を祀り、こゝに吉野桜数千本の植樹をして一大公園化すべくその計画が実現されつゝある。

角茂谷駅より少し下流で平和橋のたもとより約七十米位登つた森林二町歩がそれである。

同地所有者佐藤、前田両家から土地寄附があつて、保勝会（会長野島定信氏）を設け現在関係部落民の奉仕で、本場の吉野桜を植樹しているので一大公園としてお目見えする日も遠くなく、その景観が期待されている。

教子報恩の美挙

坂本先生の頌徳碑

同一学校に二十八年間という類別乏しい長期間、天坪第一小学校で教鞭と執られた、坂本重勢先生の徳を慕う教え子達が、頌徳碑建立を進めて居たが、此の程二十数万円の浄財が集り去る二月二十五日其の除幕式が挙行せられた、坂本先生は、一族郎党に囲まれて昔懐らぬ温顔を現はし、地元はもとより、遠く高知市からも馳せ参ずる教え子一千名、村長、議長、教育委員会、教え子代表等の祝辞を受けられた先生は感涙にむせび乍ら「自分はおかげ様で余生を安楽に送つているが、自分の魂を此の碑にこめて、永遠に諸子との親しみを続けたい」と語つた

舟戸部落で衛生組合を組織

三月四日舟戸部落民は嶺北のトツプを切つて衛生組合を組織した。同部落は清掃法による知事指定地区で衛生思想の向上及び公衆衛生、環境衛生改善を計り清潔で健康な生活を営むことを目的としてその名も特別清掃地区衛生組合と名づけた

役員は組合長上村正行副組合長堤昭利、会計間崎美治の外青年団、婦人会、大田口小中学校等地区全体を網羅して委員十四名を決定し近く設置予定の塵芥焼却炉完成と共に部落あげてこれが清潔運動に乗り出すことになつている。

尚此組合では目的達成のため左の事業を行う一、伝染病予防及び蚊蠅防止に関すること二、鼠族昆虫駆除に関すること三、糞芥処理及び用悪水路の浚渫整備に関すること四、衛生智識普及のための啓蒙宣伝五、その他環境衛生保健衛生に関すること

公衆衛生課竹林技師談

最近高知市をはじめ到るところに衛生組合その他の団体が生れ環境衛生に関する組織活動が活発になつてきたが特別清掃地区衛生組合を組織したのは県下で舟戸部落が始めてであり期待するところも大きい訳だ。

世論

本紙ではこの欄を毎号世論調査の欄とし広く民意を村治に反映せしめ更に村民の会議室たらしめるべく皆様方の御意見を記載することになり今回は最初の試みとして「村政に対する要望」を調査致しました。

本調査に御協力いたさいた各中学校及び村民の方々に厚く御礼申し上げます。

尚紙面の都合で記載出来なかつた分についても公民館の大切な世論調査として保存し関係筋に知らしめております。(係)

村政に対する要望

役場の窓口事務に要望

◉受持事務に対する勉強が足りない。四九才

◉老人が行つても女が行つても親切に気持よく接してほしい。大体頭が高いように見える。五三才

◉窓口に受付を設けて早く用事の出来るようにしてもらいたい。特に遠方から行く者は汽車の時間に制限があるので係員が不在のため事務に支障を生ぜざる様最善を尽していたゞきたい。五六才

◉昼食一時間の休憩は少し長過ぎる。急ぐ場合一時間も待たされると腹立たしくなる。四六才

◉大体親切でよいが専門用語を使用せず分り易い言葉で理解出来るような話し方が望ましい。三六才

支所管轄區域の変更を望む

現在東豊永支所管内となつている八川、東土居、岩原等の吉野川地域を西豊永支所に変更し地域の実情に即したような支所行政を望む。(四六才)

答　御意見のようにしたいと思いますが法律からみてすべてを直ちに移すと云う事は現在難しいので、出来るものから順次そのように変えて行きたいと考え研究しております。

梶ケ森にテレビ塔を作れ

将来農村文化向上の為に梶ケ森の頂上えテレビ中継所の実現の為あらゆる運動展開の用意をしその努力をせよ。

ゼンマイの有利な販賣方法を講ぜよ。

大豊村の特産物であるゼンマイは嶺南地区の園芸品のように適当な包装をし美化して土産品とすれば相当有利に販売出来るように思うが指導者(農協等の)は特に研究して欲しい。四六才

血税徴集に力を入れるよりもつと勧業面に力を入れよ

村当局は村民より血税をとる事ばかりに力を入れるより村民の利益にもなりしかも当局自身も利益になるような事業をし自活の道を立てられたい。例えば村内で生産されるものでもつて醤油製造工場、かんづめ工場を興し更に畜産の奨励、一家一町歩の植林奨励等の勧業に大いに力を入れ、お金が沢山入るよう世話をしお金に困らない様な村造りが大切である。四五才

奥大田より西久保に至る水路について

あの水路はなんの為に多大の費用をついやして造つているのか〳〵勿論水田用とは思われるが話しに聞くと開田する者は無いようであるがどうか?。下桃原方面にも水路を造れば相当の田が出来るがこの方にも少し力を入れてはどうか?

答　これは西豊永土地改良区の継続事業として行つていますが昭和三十二年頃に完成の予定です。

新開田は三〇〇町歩の予定で進んでいますので開田しないと云う事はありません。下桃原方面の水路は新規事業としては現在の所困難性があります。

豊永中学校に電話を

豊永中学校は東西連合で十八部落を校下として建築以来三ケ年を経過しているがその設備たるや誠に不完全である。就中電話の無いのは誠に不便極りないのでその設置を強く要望する

答　御要望のように豊永中学校には電話が必要なことは痛感しておりますが財政の関係上、早急に架設は困難であります、しかし極力これが架設に努力します。

中學校の統合を推進せよ

小中学校の統合を強力に推進し学校教育の充実を図り経費の節減により山間農業高校を設置せよ。

これと関連して交通網完備の一環として池田ー天坪間のガソリンカー運転の積極的運動を展開せよ。

答　中学校統合は当然必要と思われますので現在研究中ですが、仲々難しい問題ですので尚一般村民の方々も御協力を御願いします。

ガソリンカーの運転はすぐには出来ないでしょうが必要な事ですので、今後は村を挙げての運動を展開せねばならないと思いますが現在具体的な運動案は持つていません。

穴内小中学校の住宅移轉改築はどうなつているか

穴内校の教員住宅は日当り悪く不衛生な場所に長年あり教員も生活出来ないような現状であるが、これが改築、移転は急を要するので強く要望する。

答　穴内校住宅建築については早急に建築する必要性がありますが諸種の都合によりまして本年度は建築が不可能でありますので、建築する迄これに変る家屋を借家し充当します。

大田口校炊事場建築を要望

大田口校の炊事場は小中合同で使用しているが、ガラスは破れ、しとみははずれ障子もなく建築材料はほとんど腐つて居りお昼のお茶さえ満足に沸せない現状の為まだは実習教育等は全然出来ない、早急に改築してもらいたいが対策如何

答　大田口校炊事場建築については村財政の見透しがつき次第建築をする予定ですが本年度当初予算については修理費を計上しております。

村内学校の教科書を統一せよ

児童の教科書は統一して、変えず年々六年生迄は兄弟が使用出来るようにしてもらいたい。

答　教科書の統一については村当時より四ケ村は統一しています。

三十二年度から市内高校への入学は不可

通学区変更反対の経過

高校通学区の変更について昨年十二月二十二日本村教育委員会は県教育委員会より突如として高校通学区変更の通達を受けた

北の重複学区であつたものが高知の重複学区でなつたのであり

即ち本村は従来高知山田嶺北の重複学区であつたものが高知の重複学区に変更されて山田嶺北の重複学区になつたのである。

県教育委員会の改正方針として

一、町村合併による不合理を是正すると共に能う限り新市町村単位として行政区劃を割らないやうに努める

二、不必要な重複学区を整理する

三、各高等学校の将来の発展と令員入学制の堅持に留意する

以上の方針により大豊村を山田嶺北の重複学区に変更した理由として挙げてある処を要約すると

(1)高知市の人口増加により市内三校(丸の内、追手前、小津)の生徒は嶺年増加し現在既に三校の収容力を約百五十名オーバしているが、これが改築、移転は急を要するのでにおいては更に百五十名程度の増加が推計される

(2)大豊村の生徒は約二百名分が汽車で山田高校は約二百名素通りしている之は時間労力経済からして著しく不経済であり不合理である

(3)悲願いう校舎と云ふものは考へられない高知の三校と山田高校との間に差はないであるが大豊村と云ふ問題であるが大豊村と重大な問題であるの理由及県教委の取扱について納得し兼ねる点があるので承認を保留し直ちに対策にとりかゝつたのである

即ち県は此の如き重要な変更をなすに当つて或地方とは事前に話合を持ちながら大豊村に対しては何等事前に通告なく極秘の内に決定した その非民主的であり独断的であること又大豊村の生徒が山田高校の前を通つて高知へ通学することが不経済であると云ふが之は我が嶺北地方と高知市との歴史的関係を無視した考へで何等不合理でも不経済でもなく却つて経済的であり合利的であるその証拠として山田高校への通学者は年々減少するに対し市内三校への通学者は逐年増加している(現在高知市一三四名に対し山田二二名)事実は之が証明している次各中学校に於ける高校進学生の方針は既に定まつているそれを学年も終りに近い今頃変更することは生徒の進学に大変な混雑を来し中には進学中止の者もあらはれるおそれがあるので他反対の理由は多々あるので村教育委員会は学校側PTAなどと会合を開き強力な反対運動を展開することとし

十二月二十五日には村民大会を開いて絶対反対を議決して県教委に打電し

十二月二十六日には村長教育委員中学校長PTA代表等多数県教委に出頭強力に反対を陳情した

その結果県教委としても正式会議によつて再審議否やを決定するとの回答を得たので一安心の態をもつたのである

然るに一月九日に県教委よりは再議不能正式決定の通知に接したのであるそこで二月十二日には中央公民館に委員会学校PTA代表三者会談を開き絶対反対の声明書並に理由書を作成して即日県教委に殺到し翌一月十六日には前三者及村婦人連合会長も参加の下に出高県教委に面会陳情し一方数班に分れ中越西村中沢各委員を私宅或は勤務先に個別訪問して陳情した。かくて一月廿四日県教委開会中を利し委員各校長PTA婦人会代表等四十余名は高知駅前に勢揃ひし通学区絶対反対ののぼりを先頭に県教委に出頭強力に陳情したその結果委員会としても事の重大さを認め翌二十五日会を(水)から五月七日(月)までの間に実施問合せ詳細は役場厚生課、各支所に問合せのこと

婦人会

共励会

大豊村連合婦人会共励会は次の通り行なわれそれぞれの会場に熱心な会員多数の参加を得て盛大に行なわれた。

一月十二日(木)天坪公民館。二月二十二日(水)中央公民館。四月六日(金)東豊永公民館

「村婦大豊を」発行

一月に「村婦大豊」紙を四千九百部発行し、全村全世帯の婦人に配布した。これは結成以来の報告紙を兼ねた機関である

「村婦大豊」

紙の通り三月十日の役員会に於て入選二篇佳作三篇を選んだ。

青年團

大田口で卓球大会

村連合青年團主催による第一回卓球大会は三月二十五日大田口小学校講堂に於いて開催された。

七チーム、三十五名による熱戦展開の結果次の通り勝敗が決し、輝く教育長杯は天坪B組が獲得した。

團体　一位　天坪B。二位　大杉。三位　西豊永B

個人　一位　前田集一(天坪)二位　西岡寿夫(天坪)三位　小松英照(天坪)

村連体育部長辭任

村連体育部長中西晃成君は三月末村役場を辞職、それに伴つて村連に於ける現職をも辞任される。同君は舊天坪村連團長を経て現役になつて以来その活躍は青年団振興に多大の貢献をしてきたのである。即ち県は此の如き重要な変更をなすに当つて或地方とは事前に話合を持ちながら大豊村に対しては何等事前に通告なく極秘の内に決定した その非民主的であり独断的であること又大豊村の生徒が山田高校の前を通つて高知へ通学することが不経済であると云ふが之は我が嶺北地方と高知市との歴史的関係を無視した考へで何等不合理でも不経済でもなく却つて経済的であり合利的であるその証拠として山田高校への通学者は年々減少するに対し市内三校への通学者は逐年増加している(現在高知市一三四名に対し山田二二名)事実は之が証明している次各中学校に於ける高校進学生の方針は既に定まつているそれを学年も終りに近い今頃変更することは生徒の進学に大変な混雑を来し中には進学中止の者もあらはれるおそれがあるので他反対の理由は多々あるので村教育委員会は学校側PTAなどと会合を開き強力な反対運動を展開することとし

十二月二十五日には村民大会を開いて絶対反対を議決して県教委に打電し

十二月二十六日には村長教育委員中学校長PTA代表等多数県教委に出頭強力に反対を陳情した

その結果県教委としても正式会議によつて再審議否やを決定するとの回答を得たので一安心の態をもつたのである

然るに一月九日に県教委よりは再議不能正式決定の通知に接したのであるそこで二月十二日には中央公民館に委員会学校PTA代表三者会談を開き絶対反対の声明書並に理由書を作成して即日県教委に殺到し翌一月十六日には前三者及村婦人連合会長も参加の下に出高県教委に面会陳情し一方数班に分れ中越西村中沢各委員を私宅或は勤務先に個別訪問して陳情した。かくて一月廿四日県教委開会中を利し委員各校長PTA婦人会代表等四十余名は高知駅前に勢揃ひし通学区絶対反対ののぼりを先頭に県教委に出頭強力に陳情したその結果委員会としても事の重大さを認め翌二十五日会を(水)から五月七日(月)までの間に実施問合せ詳細は役場厚生課、各支所に問合せのこと

婦人会

共励会

大豊村連合婦人会共励会は次の通り行なわれそれぞれの会場に熱心な会員多数の参加を得て盛大に行なわれた。

一月十二日(木)天坪公民館。二月二十二日(水)中央公民館。四月六日(金)東豊永公民館

「村婦大豊を」発行

一月に「村婦大豊」紙を四千九百部発行し、全村全世帯の婦人に配布した。これは結成以来の報告紙を兼ねた機関である

「村婦大豊」

紙の通り三月十日の役員会に於て入選二篇佳作三篇を選んだ。

青年團

大田口で卓球大会

村連合青年團主催による第一回卓球大会は三月二十五日大田口小学校講堂に於いて開催された。

七チーム、三十五名による熱戦展開の結果次の通り勝敗が決し、輝く教育長杯は天坪B組が獲得した。

團体　一位　天坪B。二位　大杉。三位　西豊永B

個人　一位　前田集一(天坪)二位　西岡寿夫(天坪)三位　小松英照(天坪)

村連体育部長辭任

村連体育部長中西晃成君は三月末村役場を辞職、それに伴つて村連に於ける現職をも辞任される。同君は舊天坪村連團長を経て現役になつて以来その活躍は青年団振興に多大の貢献をしてきたのである。即ち県は此の如き重要な変更をなすに当つて或地方とは事前に話合を持ちながら大豊村に対しては何等事前に通告なく極秘の内に決定した その非民主的であり独断的であること又大豊村の生徒が山田高校の前を通つて高知へ通学することが不経済であると云ふが之は我が嶺北地方と高知市との歴史的関係を無視した考へで何等不合理でも不経済でもなく却つて経済的であり合利的であるその証拠として山田高校への通学者は年々減少するに対し市内三校への通学者は逐年増加している(現在高知市一三四名に対し山田二二名)事実は之が証明している次各中学校に於ける高校進学生の方針は既に定まつているそれを学年も終りに近い今頃変更することは生徒の進学に大変な混雑を来し中には進学中止の者もあらはれるおそれがあるので他反対の理由は多々あるので村教育委員会は学校側PTAなどと会合を開き強力な反対運動を展開することとし

十二月二十五日には村民大会を開いて絶対反対を議決して県教委に打電し

十二月二十六日には村長教育委員中学校長PTA代表等多数県教委に出頭強力に反対を陳情した

その結果県教委としても正式会議によつて再審議否やを決定するとの回答を得たので一安心の態をもつたのである

然るに一月九日に県教委よりは再議不能正式決定の通知に接したのであるそこで二月十二日には中央公民館に委員会学校PTA代表三者会談を開き絶対反対の声明書並に理由書を作成して即日県教委に殺到し翌一月十六日には前三者及村婦人連合会長も参加の下に出高県教委に面会陳情し一方数班に分れ中越西村中沢各委員を私宅或は勤務先に個別訪問して陳情した。かくて一月廿四日県教委開会中を利し委員各校長PTA婦人会代表等四十余名は高知駅前に勢揃ひし通学区絶対反対ののぼりを先頭に県教委に出頭強力に陳情したその結果委員会としても事の重大さを認め翌二十五日会を

短歌

ゆく末の希望吾に語るごと友の瞳は吾をはげます。

青空の晴るゝはかなし冬の日君を想いてなくすゞめかな。

小川二　西岡　山水

せめて世に我より不幸な人なかれと

神に祈らむそふくまとゞ。

雪降れる窓ぺすかして見渡せば

すゞめばかりがいそがしく鳴く。

穴内一区　桑名世見子

詩

みゝずの仲間

汗にまみれて土掘る身でも

夢をみつめて生きようぜ

俺もお前もみゝずの仲間

シャベル枕に青空仰ぎや

でかい希望の雲が呼ぶ

肩にくい込む三尺もつこ

重いからとて泣くやない

俺もお前もみゝずの仲間

紺の絆天男が泣いちや

飯場娘が笑うだろう

泥の地下足袋破れていても

清け捨てずに生きようぜ

俺もお前もみゝずの仲間

さんざ転んで

ドツコイ起きりや

いつか芽をふく春も来る

作詩　石川泰久

間仲のみゝず

告知欄

靖国神社参拝団員募集

参拝時期　四月二十五日出発予定旅行先東京で二泊靖国神社参拝、皇居拝観国会議事堂参観、都内見学日光で一泊経費四千九百円申込先村役場厚生課各支所又は各地区遺族会長に参加申込書と同時に所要経費を添え申込みのこと申込期間四月十日旅行日程確定次第申込者に詳細通知します。

自衛官募集

(陸、海、空)

資格昭和六年七月二日より昭和十三年七月一日までの間に生れた者受付期間三月二十日から四月十六日まで志願手続志望者は村役場厚生課から志願票二票受け取り、これに所要事項を正確に記入の上役場に提出のこと試験試験は四月二十五日

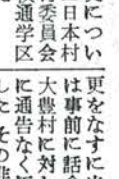
穴内校下青年団解散

穴内校下青年団は二月二十三日夜、団団役員会に於て単位団組織の不完全、その団執行部の不明確、その運営活動に多大の支障を来していることを確認して発展的解散をした。

尚同団で直ちに再建委員会を組織してその再興を準備中である。

高須部落

次回は落合部落を訪問



内田氏

中央公民館から高須部落を探訪せよと委嘱を受け早速旅仕度を整えたが、さて高須部落がどこにあるか、一向不案内であつたので日本地図を開いて、あそこかこゝかと調べてみた。四国島のほゞ中央部、四国アルプスの山麓を吉野川が悠休の流れをたゝえ、川に沿つて鉄道土讃線と国道二十三号線が従貫している。この吉野川の支流穴内川を上へ上へとたどつていると高須部落が見つかつた。

記者は即日急行に乗つて大杉駅に下車して対岸の高須部落を訪問した

部落の人家は主として道路沿に六十八戸(約百世帯)人口四百名をようする新村の本役場所在地である。

昭和初期の入家は国道ぞいに八軒、本山舊県道沿線に五軒程度で全戸三十数戸であつたが終戦後、現在の様に急激に密集し現に後から後へ建てられている。

たゞ平地にとぼしいので家屋の多くは水面近く川岸に土台を築き或は谷の上に建る等他に一寸、見られない異風景を呈している。

この急激な発展は何といつても道路交通の変遷が最大の原因であろう。

即ち本山方面との交通は昭和六年迄は高須、杉部落境を始点として舊県道がつけられ高須山腹を蜿蜒し急坂な峠を越え諸車の交通が行なはれ杉が要地点となつていた。

昭和六、年四月、地元大杉、本山方面の有志先覚者の猛烈な政治運動が功をもたらし現在の道路トンネル及大副員道路が開通し嶺北の交通産業開発に変革をもたらした。

ついで昭和七年十二月二十日大杉駅開通に伴い国道と駅間に大杉橋が架橋され県道本山線との連結が、でき、大杉駅を中心とした高須部落は本山方面の交通上の要地として必然的発展の要素をもち漸次人家が集中され加うるに舊大杉役場を中心に下からの発展と相まつて現在をなした新興部落である

こゝには役場の外、中央公民館、農林省統計事務所、同食糧事務所出張所、高知相銀出張所、大杉農協、杉郵便局等諸機関があり所用者の出入が頻繁で毎日の如く何かの会合が行なはれ特に役場近辺の飲食店の繁昌はこれ等機関の恩恵といえよう

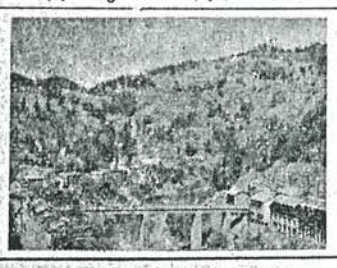
部落の年中行事の一に舊七月廿日の御堂祭りがある毎年夜を徹して色々な余興や特異なキビばわしが行なわれている。

部落長の内田義盛さんを訪づれると

「部落の皆さんは部落や村のことについて極めて関心をもち非常に協力的でやりよい。新家屋も宅地の悪条件を克服して続々出来て居り将来杉の町え続く事も予想され有志間では杉との併合も考えられている」

と語つていた。

桜花爛漫とさき乱れ発展の希望にもえる高須の皆様の御奮闘と御健康を祈り乍ら高須を辞す(世紀閣主人)

現在判明している歴代区長

内田倉吉、楠瀬性常、内田村三。飯田俊広、楠島正則、吉川茂晴、永田滝馬、